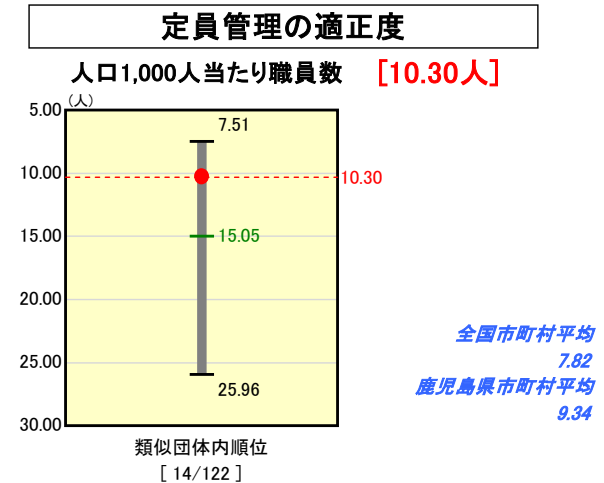
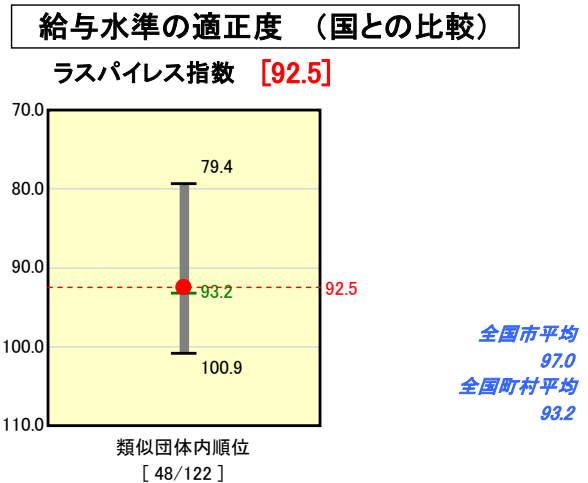
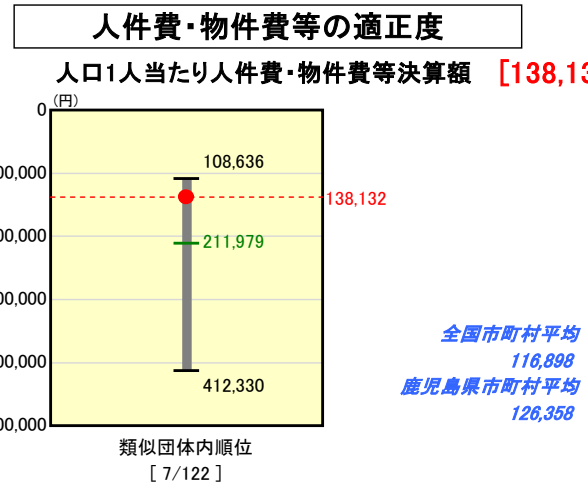
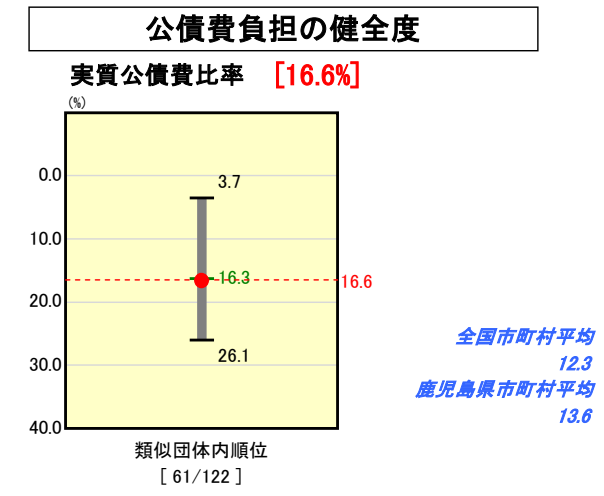
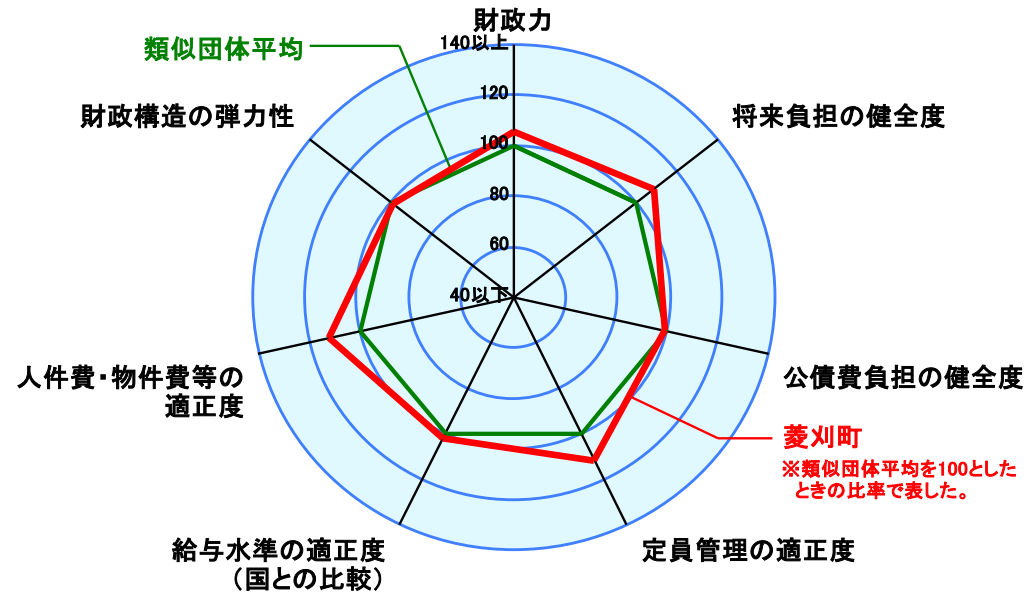
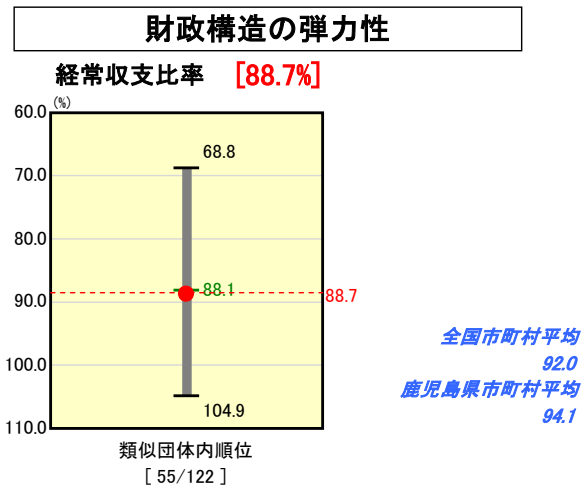
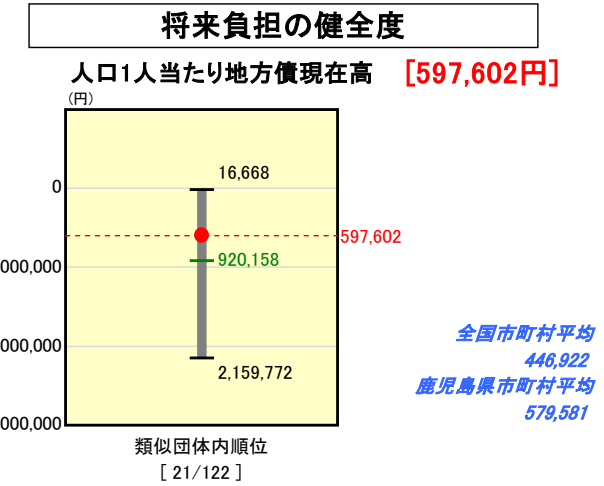
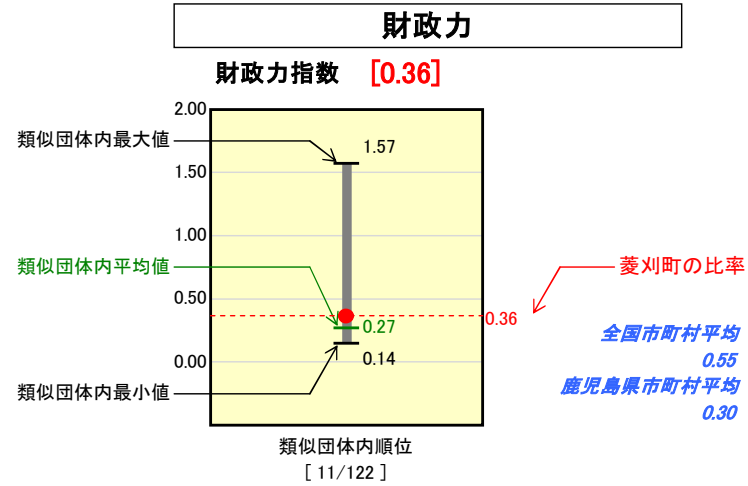


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

鹿児島県 菱刈町

人口	9,510人	(H20.3.31現在)
面積	100.47	km ²
歳入総額	5,749,183	千円
歳出総額	5,469,999	千円
実質収支	267,184	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
本町は過疎地域であり高齢化率が高く、一般財源となる収入が乏しい、財政力指数は平成17年度0.33、平成18年度0.34、平成19年度0.36と近年高くなってはいるが、これは鉱物価格の高騰による鉱産税の伸びがその一因となっている。

経常収支比率
一般的に80%を超えると弾力性が失なわれるといわれているが、本町は88.7%で類似団体平均の88.1%と大差はない。交付税の地方債への振替に伴い公債費(町債の元利償還金)が増加したこと、並びに地方交付税等が削減されたことが大きく影響している。また、一部事務組合の維持管理にかかわる経費に対する負担金も多額にのぼるのもその要因である。

人件費物件費等の適正度
人口1人当たりの人件費物件費は類似団体の211,979円に対し138,132円と大幅に少ないが鹿児島県市町村平均からすると若干高い。人件費である給与についてのラスパイルズは92.5%と低く維持している。

人口一人当たりの地方債残高
地方債の償還額は、平成18年度をピークとして今後減少する傾向である。これは近年普通建設費の事業の縮小と廃止によるものである。類似団体の920,158円に対し、597,602円と大幅に少ない。

実施公債費比率
実質公債費比率は平成17年度17.9% 平成18年度17.3% 平成19年度16.6%と年々減少している。これは県営補助整備事業の償還金及び一部事務組合への公債費負担金、特別会計への繰出金等があるが、県営ほ場整備事業の償還金は年々減少し、年度別償還額も平成18年度をピークとして減少する見込みである。ただ、市町村合併に伴い当面、必要な建設事業が増えはするが今後、繰上償還を実施し、また、普通建設を抑制することによって、低い水準を維持したい。

人口1,000人当たり職員数
職員数は、類似団体の15.05人に対し10.3人と少ない。
平成17年度を初年度として平成22年度までの5か年間で定年退職、勲奨退職で12人の削減で新規採用を2名としていたが、平成20年11月の市町村合併における新市まちづくり計画で合併時の職員数337人を平成27年度末までに266人にするを目標としている。